

衣

愛知県絞工業組合

世界が認める日本の技

400年の伝統を誇る有松・鳴海絞

有松は旧東海道が整備された慶長年間、鳴海宿と池鯉鮒（知立）宿との間に知多郡阿久比の村民が移住したことにより開村しました。今も古い町並みが保たれています。

この村の統率者であった竹田庄九郎が始めたのが今の有松・鳴海絞です。江戸時代は尾張藩の保護を受けた絞り製造業者が有松に集められました。そして有松絞りは東海道を行きかう旅人のお土産として喜ばれました。明治33年（1900）に開かれたパリ万国博覧会にも出品されるほど有松絞りは日本を代表する工芸品の一つとなります。大正時代頃から絞りの下請けとして朝鮮半島に技術移転が行われましたが、昭和30年代頃より韓国製の安価な絞りが輸入され、その対抗策として愛知県の絞り業者を集めて昭和42年（1967）に愛知県絞工業組合が発足しました。

日本遺産の街と伝統産業

絞りはいくつかの工程を経て完成しますが、それぞれの工程に職人がいます。組合員は商品デザイン、



日本遺産に認定された有松の町並み

型紙の発注、くくりや染屋への手配、完成品の販売などを行う事業者で現在は19社が加入しています。くくり作業はかつて農家の主婦など内職的な面もありましたが、技術を習得するには何年もかかります。

伝統産業を守りたいという思いから、平成4年（1992）に、絞り業に従事する若手を中心となって、世界20か国より850人の人々を集めた国際絞りに会議を開催しました。その後もインド、チリ、イギリス、香港、中国、メキシコなどで開かれています。

また平成21年（2009）ころから組合として後継者育成のため、絞り技術を習得したい人を一般から募集し、終了者に仕事を発注する仕組みを作り、これまでに50人ほどに技術を伝えてきました。

令和元年（2019）には「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地～藍染が風にゆれる町 有松～」として愛知県内では唯一の地域型日本遺産に認定されました。将来的には有松をミラノやベネチアのような伝統産業と観光を一体とした、世界のバイヤーが訪れるような街にしたいとして取組んでいます。



2016年にメキシコで開催された国際絞りに会議

■職種：しぼり職 ■組合設立年：昭和42年 ■組合住所：名古屋市緑区有松3405

■電話番号：052-621-1797 ■ファックス：052-621-1244 ■ホームページ：<http://arimatsu-narumishibori.com/>